

# 株式会社ステムセル研究所

2025年3月期第3四半期 決算説明資料

2025年2月13日

▶ **業績は過去最高を更新するも、検体数は当四半期目標を下回る着地**

要因	対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>第2四半期途中にオンライン広告アカウントが<b>突然凍結</b>され、約3週間にわたり<b>広告配信が停止</b></li> <li>資料請求数が大幅に減少し、当四半期の検体数に影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アカウントの移行、<b>広告媒体の新規開拓</b></li> <li>妊婦向けアプリ企業との<b>合同オンラインセミナー</b>を活用し、資料請求獲得の<b>新たな施策を開始</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年11月より導入した新プランでは、新たなコンセプトで「ご家族皆様での利用」を強調したが、<b>エイジングケア等の訴求</b>が妊娠中の方々には響きにくかった</li> <li>資料請求数が想定よりも伸びず、当四半期の検体数に影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットや顧客対応を「<b>生まれてくるお子様の将来に備える</b>」という従来のコンセプトに戻し、訴求を強化</li> <li>12月後半より<b>資料請求数は回復傾向</b></li> </ul>

▶ **成約率向上、平均単価上昇による来期以降の新プランの売上成長の可能性**

**成約率10%アップ**

- 月額2,980円（税込）からの支払いプランにより、**利用しやすい価格帯**を提供
- さい帯・さい帯血の両方を採取することで、**どちらか一方は確実に保管できる安心感**が増加

**平均単価20%アップ**

- 月額3,980円（税込）で「さい帯・さい帯血の両方を保管できる」プランの需要拡大
- どちらか一方を保管するプランに**追加1,000円で両方保管できる**ため、出産時の貴重な機会を最大限活用したい顧客の意識が高まる

**売上高約30%アップ見込み**

- 従来プランと比較し、**成約率の向上**および**平均単価の上昇**が顕著
- 資料請求数がこれまでと同水準で推移した場合、売上高は**約30%（= 1 × 1.1 × 1.2）アップ**

(単位：百万円)

	2024/03期 3Q	構成比	2025/03期 3Q	構成比	対前期 増加額	対前期 増減率
売上高	1,884	100.0%	<b>2,040</b>	<b>100.0%</b>	155	8.3%
売上総利益	1,214	64.4%	<b>1,298</b>	<b>63.6%</b>	83	6.9%
販売費及び 一般管理費	858	45.5%	<b>939</b>	<b>46.1%</b>	81	9.5%
営業利益	356	18.9%	<b>358</b>	<b>17.6%</b>	2	0.7%
営業外損益	2	0.1%	<b>8</b>	<b>0.4%</b>	6	278.8%
経常利益	358	19.0%	<b>367</b>	<b>18.0%</b>	8	2.4%
特別損益	24	1.3%	<b>136</b>	<b>6.7%</b>	112	468.8%
税引前 四半期純利益	382	20.3%	<b>503</b>	<b>24.7%</b>	121	31.8%
四半期純利益	254	13.5%	<b>339</b>	<b>16.7%</b>	84	33.3%

売上高・各段階利益  
過去最高

売上高（対前期比）  
+ 8.3%

四半期純利益（対前期比）  
+ 33.3%

(単位：百万円)

	2024/3/31	構成比	2024/12/31	構成比
現金及び預金	<b>2,845</b>	<b>43.5%</b>	<b>3,532</b>	<b>49.2%</b>
売掛金	1,588	24.3%	1,810	25.2%
投資その他の資産	1,321	20.2%	974	13.6%
資産合計	6,543	100.0%	7,180	100.0%
前受金	<b>3,420</b>	<b>52.3%</b>	<b>3,672</b>	<b>51.1%</b>
純資産合計	2,692	41.2%	2,677	37.3%
負債純資産合計	6,543	100.0%	7,180	100.0%

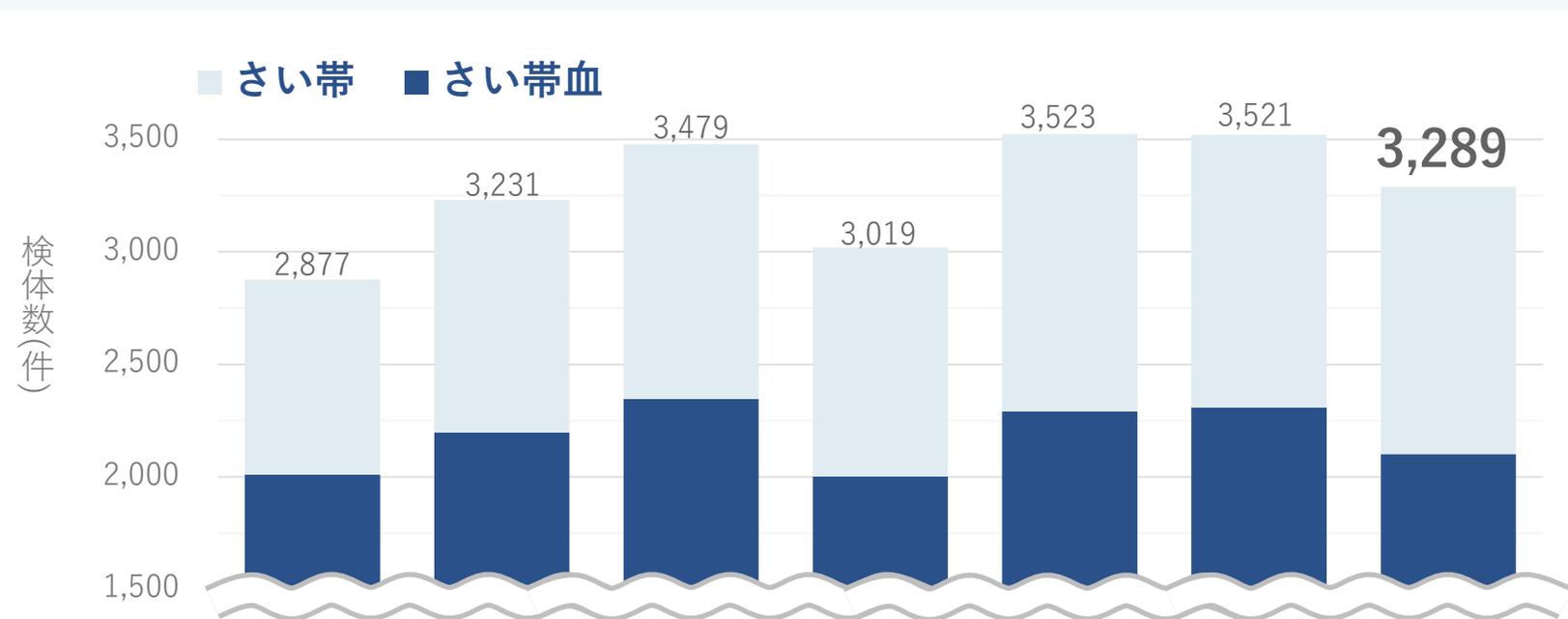
## 株式会社三菱UFJ銀行 「脱炭素推進支援ローン」

資金調達 **400** 百万円

- **固定資産（土地）取得のため資金調達を実施。**2026年末頃を目処に新しく**細胞処理センター**および**細胞保管センター**を建設し、それぞれの能力を拡充。
- 当社の信用力による**金利差を有効的に活用。**借入の一方、約5億円のMUFG社債を保有中。平均運用利率は当借入金利より**約1%高い。**

## 保有株式売却益計上

新たな投資先数社進行中



培養上清製造サービス開始	2024/03期				2025/03期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
さい帯血検体数(件)	2,011	2,198	2,347	2,003	2,291	2,309	2,103
	8,559 (対前期比+13.2%)				6,703 (対前期比+2.2%)		
さい帯検体数(件)	866	1,033	1,132	1,016	1,232	1,212	1,186
	4,047 (対前期比+39.2%)				3,630 (対前期比+19.8%)		
さい帯血保管者のさい帯採取比率	43.1%	47.0%	48.2%	50.7%	53.8%	52.5%	56.4%

### 停滞の理由

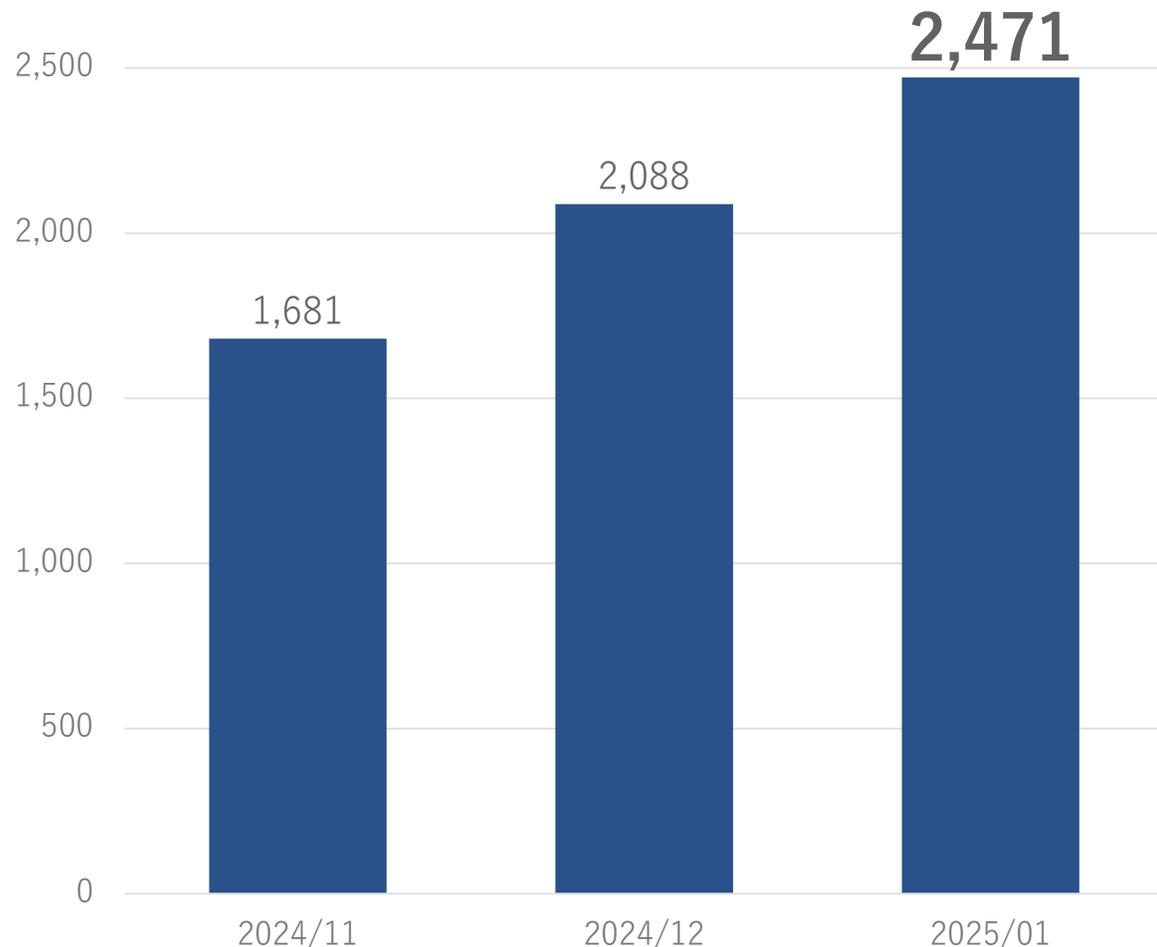
第2Qで発生したオンライン広告アカウントの凍結により資料請求数が減少したこと、11月より開始した新プランへの移行がスムーズに行かなかったことが、第3Qの検体数に影響。

### ポジティブ要因

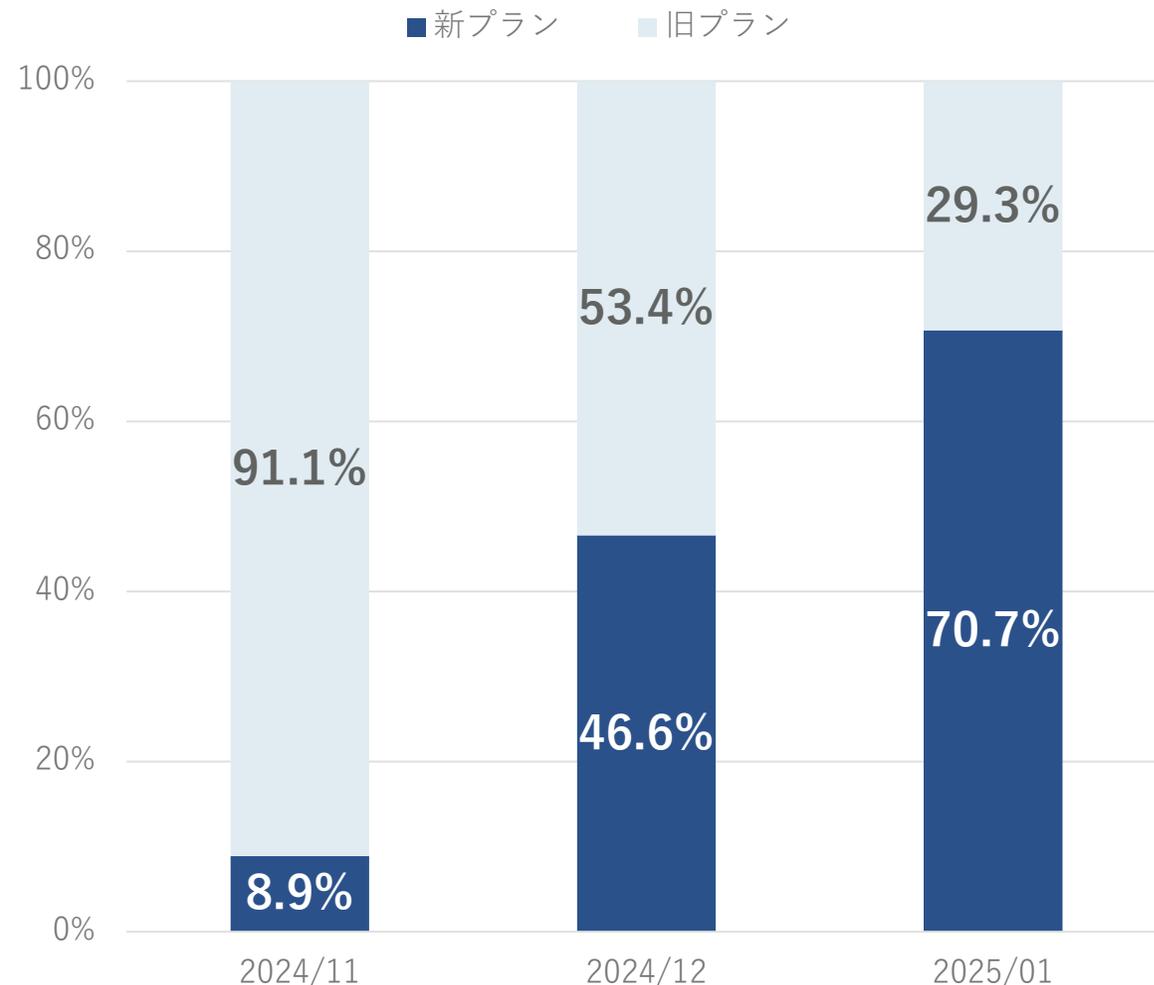
広告面の新規開拓および新プランの訴求内容の見直しを行い、現在は回復傾向。

さらに、**想定以上の成約率向上と平均単価上昇**が確認できており、**来期以降の業績に寄与する**見込み。

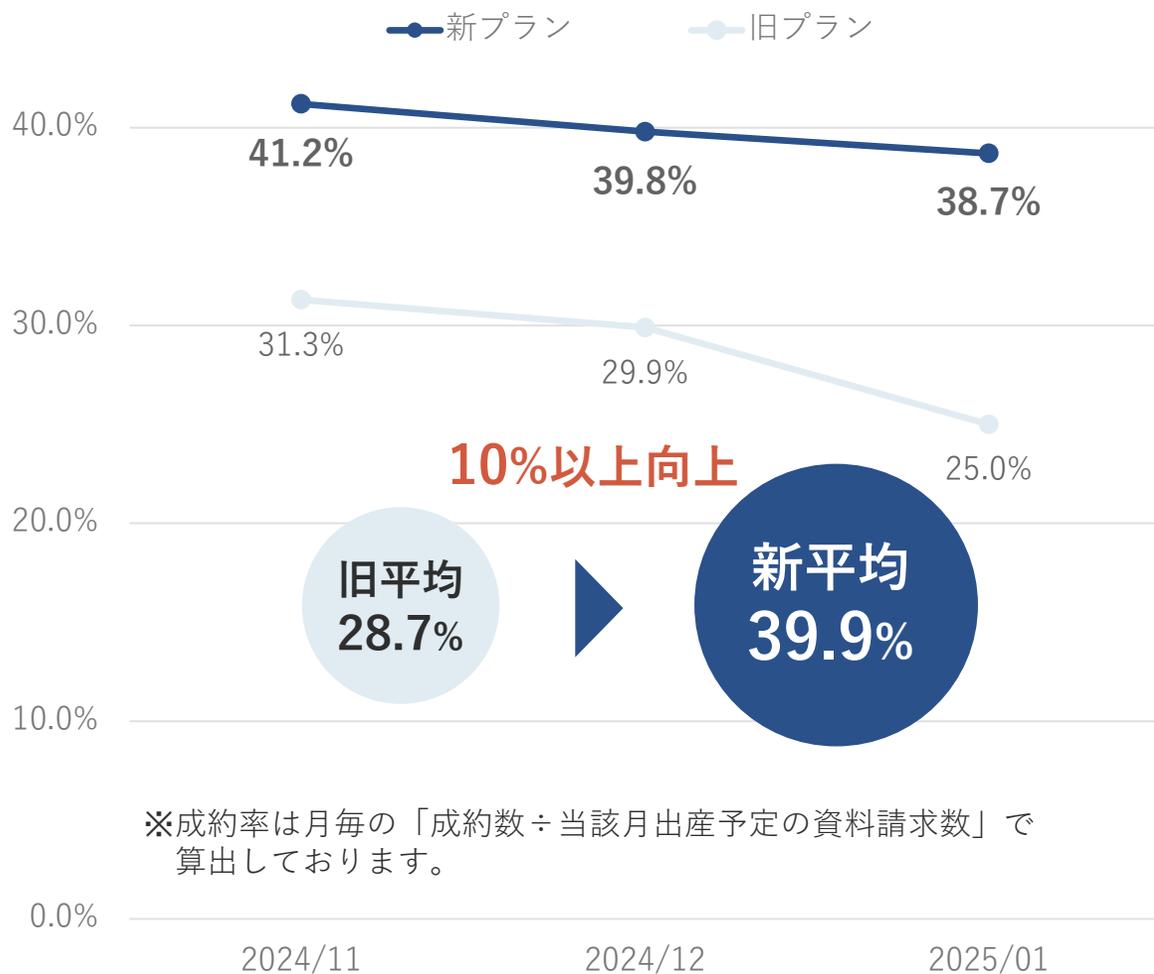
資料請求数



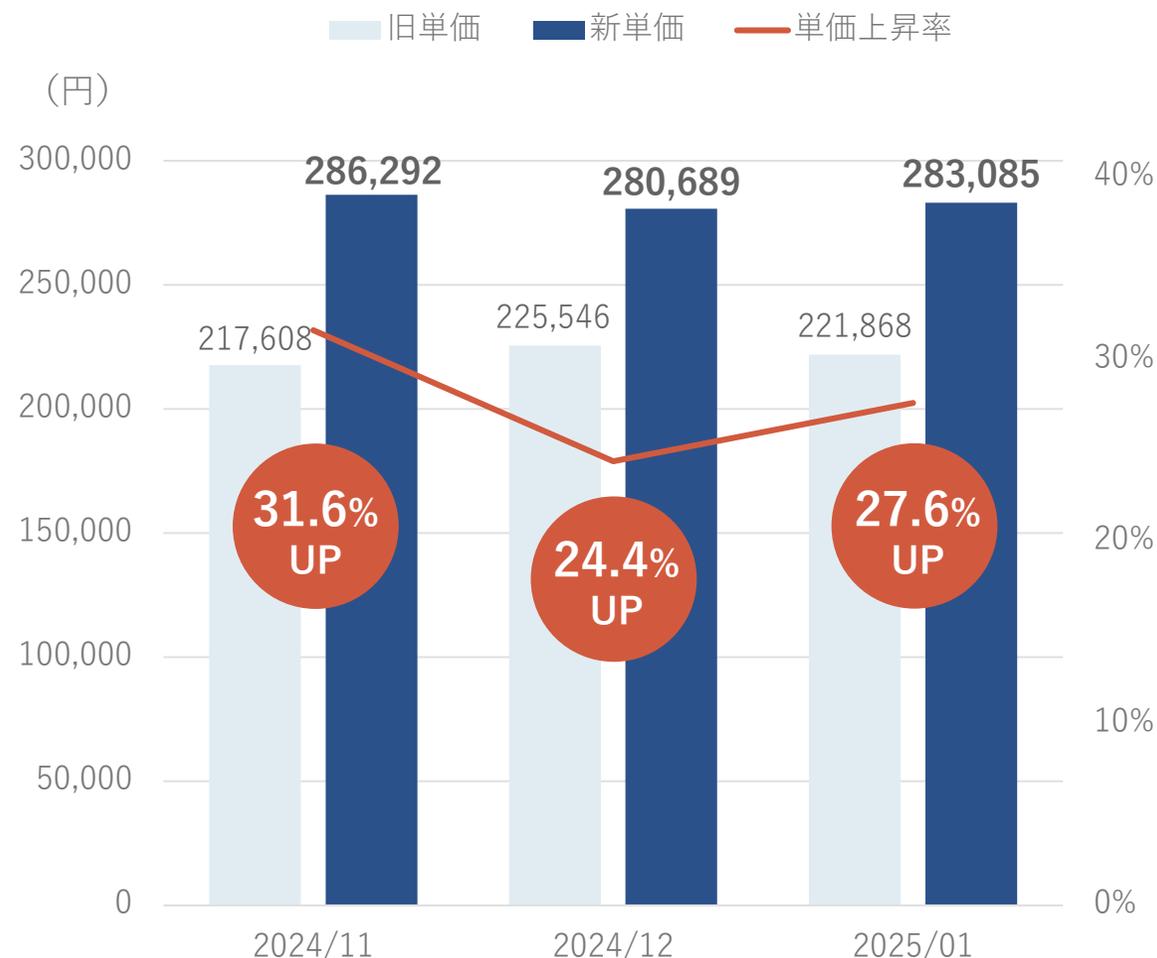
新旧プランの検体数比率



### 新旧プランの成約率



### 新旧プランの平均単価



シンガポール

インドネシア

ベトナム

等、**東南アジア (ASEAN)** への事業展開



昨年11月、シンガポールに地域統括会社  
(Regional Headquarters : R H Q) を設立

名称 STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.

### 進捗と戦略

#### ▶ 各国の現地企業と交渉中

それぞれの市場環境を分析し、最適な事業モデルの導入を検討

#### ▶ 事業展開の方法を検討中

1. 自社単独での事業展開
2. 現地の細胞バンクのM&Aによる参入
3. 現地の細胞バンクとの資本提携

シンガポールから周辺国へ  
来期中の事業開始を目指して準備中

## 小児脳性麻痺（高知大学）、自閉症スペクトラム障害（大阪公立大学）に対する臨床研究が進行中

## 再生医療安確法に基づいた新たな投与スキームの検討（国内、インバウンド含）

当社独自のサービス

## ファミリー上清（さい帯由来幹細胞培養上清液）製造サービス

保管したさい帯の幹細胞を培養・増殖させて  
エクソソームやサイトカイン等を含む上清液を製造  
複数回製造・ご家族でご利用可能

**LTV（顧客生涯価値）向上を実現**  
**サービス申込者増加中**

### ポイント

- 1 保管したお子さまの「さい帯」から幹細胞培養上清液を製造  
日本初、当社だからできるサービス
- 2 医療クリニックにおいて医師の裁量下で顧客のニーズに  
合わせて適切に投与
- 3 複数本に分けて保管したさい帯の一部を使用するため、  
残りのさい帯は、将来に備えて保管継続が可能

- 本資料は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。  
これらは、現在における予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。  
それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済情勢が含まれております。
- 本資料の当社以外に関する情報は、一般的に公知と考えられるものに基づいております。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の勧誘行為を行うためのものではありません。

株式会社ステムセル研究所